

平成 27 年 3 月 7 日

東海大学放送研究部 OB 会
平成 26 年度 第 4 回役員会議事録

日 時：平成 27 年 3 月 7 日（土） 11：10 ～15：15

場 所：東海大学同窓会館 3F 東海大学出版会 会議室

出席者：木村，小林，吉田，山田，坂代，佐藤(貴)，橋本(午後から)，佐藤(一)
以上 8 名

議 題

1. 総会について

- ・日時は 6 月 13 日（土）で決定。
- ・総会時の時間計画は

14：30～15：30	講演
15：40～16：40	総会
16：50～17：20	プレゼンテーション（現役生）
17：40～20：30	懇親会

（意見）

- ・今まで学生のプレゼンテーションを見て、今度の総会から放送研究部としてふさわしいようなラジオドラマを作り、Q シートを添えて発表する。時間は 10 分をめで提案したらどうか？という意見が出た。
- ・総会案内発送時期については
案内発送：5 月 10 日（日）めどに準備
出欠締切：5 月末日
- ・講演候補者について坂代，佐藤(貴)両委員より報告があり
大山真一氏（宮崎放送）の推薦があった。
*ただし，仕事の関係で 1 ヶ月前にならないと正式にはわからないとのこと。
したがって，「もう一人候補をあげたらどうか？」ということになり，
中村潔氏に依頼することになり，佐藤(一)が連絡することになった。
- ・総会の詳細を検討する内容を主題として **4 月 26 日（日）**に役員会を開催することになった。また，時間と場所については後日，総務より連絡することになった。
今度の役員会は平成 27 年度第 1 回役員会となります。

2. 現役の OB 連絡担当増員について

（提案理由）・・・事務局

- ・今まで，現役の OB 連絡担当は一人であったが，ほとんどが 3 年生のためクラブの仕事が優先されると，なかなか OB 会との連絡が取りにくくなる。そこで，3 年生を主担当として，2 年生を副担当として，2 名が担当し次年度はその副担当が翌年は主担当となるようにすれば，OB 会との関係が引き継がれていくと考える。
- ・上記提案に対し，提案内容に沿って合同役員会で現役に提案することになった。

3. 現役生会計報告について

(提案理由) …… 事務局

- ・OB会が発足して8回の総会が終わった。これまで建学祭の折にOB会より渡してきた「活動支援金」について、現役からその使途を報告されたことは一度もない。このようなことは一般社会では通じないことを学生に指導する必要がある。したがって、決算報告することを提案する。その具体的な内容は次の議題の「規約」の内容としたい。
- ・この件も前項同様に合同役員会で現役に提案して指導することにした。

4. 「OB会規約」について

(提案理由) …… 事務局

- ・これまでの役員会ではその都度、学生に対して口頭でいろいろと説明してきたが、十分に理解されていないことや、学生の新役員が前役員から十分な引継ぎがなされていない感じを受けたので、平成25年3月10日に「経緯説明(主な点)」,平成26年3月8日に「経緯説明(主な点)・・・NO2」として文書でお互いに決めた事柄を項目としてまとめて、配布してきた資料内容に前議題2・3の内容を加えて、今年度からは規約としてお互いに共有したらと考えた。この段階では「関係者の間で相談して決めた規則」としてお互いが納得して運用していく程度にしか考えていない。

(上記事務局の提案に対し以下の意見が出た)

- ・規約の内容的な部分で6項,7項は現役生として負担を感じるのではないかと思う。
- ・第7項「～吟味し,～」の表現はもう少し表現を変えたほうがよいと考える。
- ・現役生とOBとの関係は「紛争」をきっかけでいったん切れてしまった。その後、復活したが、また切れた。という状況ではないかと思われる。
- ・現在の「部則」に組織図がないので、役員並びにOB会との関係が十分に把握できない。
- ・現状は役職がついてそれに皆がついていく。委員長はリーダーではなく学内の公的な代表というイメージしかないのではないかと感じる。
- ・今の学生は何かあると「できないんです。」と答えることが多い。これらのほとんどは自分たちの「思い込み」からきていることが多いように思われる。

(意見交換の途中で佐藤が1/30に役員メールでお約束した支援課とのまとめのプリントを配布)

- ・現在の学生の活動は、週2回全員が集まる。この時は「会議」が中心となり「役員」「議長」が会の進行役となる」ようだ。
- ・資料にもあるように文連の中には「メンバーズ研修会」「冬期研修会」「幹部会」などが計画されているので、それに参加することも必要であろう。
- ・とりあえず、今日の段階では提案の規約をコピーして渡し、「内容の細部にわたっては検討するが、内容的にはプリントに示すようなことを考えている。」ということで、この後の合同役員会ではコピーを渡すことになった。
- ・今後これをどのような形でオーサライズさせるか?
- ・まず、OB会の会則を検討して附則をつけて連携を深める手段を考えることとして、現役の部則にも手を加えてお互いに連携を深めることになった。

以 上